

和歌山からスター!を

ダンス教室きょう開講

元タカラジェンヌ 森央かずみさん

1987年から18年間にわたって宝塚歌劇団で活躍した森央かずみさん(43)(=本名・中井和美さん)が4日から、和歌山市黒岩の自宅でダンス教室を始める。宝塚と同じ「清く、正しく、美しく」をコンセプトに「いつかスターを育てたい」と夢見ている。

森央さんは大阪府守口市出身。小学2年

のとき、テレビで「ベルサイユのばら」の公演を見て「わー、お人形さんみたい」と役者の美しさに心を打たれ、宝塚を志した。高校に入ってから宝塚音楽学校に入るための声楽やバレエのレッスンを開始し、高校3年生のときに合格。同期には人気女優の天海祐希さんや歌手の姿月あさとさんらがいる。

入学した学校は「今振り返つたら、よく頑張つてたな、自分」と思うほど厳しい世界だった。例えば掃除。全員に持ち場があり、毎朝1時間半かけてきれいにする。森央さんは「3階トイレ鏡分担」。洗面台3台、窓、換気扇をホコリも水滴も一切ない状態に磨き上げる。花瓶のガーベラはしないように茎にワイヤを挿入。バラは「つぼみでないといけない」という決まりがあり、花が開いていないか、休み時間ごとにチェックしに走つたという。

「清く、正しく、美しく」育て

「清く、正しく、美しく」育てた現在の夫、中井樹晃さん(39)と出会った。「体育会系同士波長が合って」、04年夏に結婚。宝塚を退団して夫の実家のある和歌山市に移り住んだ。

2人の子どもをもうけ、お母さん業に専念していた森央さんが教室開設を思い立つたきっかけは、長女の真央ちゃん(4)が「宝塚に入りたい」と言い始めたこと。3歳の時、七夕の短冊に「だからかにはいれますように」と書いた。「この子がやりたいんだだったら、他の子にも一緒に私が教えよう」と考えた。宝塚を希望する和歌山の女の子の受け皿も目指すという。

宝塚受験希望者だけでなく、一般の人(3歳以上限なし)を対象としたレッスンもある。宝塚で培った技術や退団後に取得した資格を生かし、ジャズダンスやバレエ、体の内側の筋肉を鍛えるピラティスなどを教える。月謝は6千円から。宝塚音楽学校受験組は2万円から。

問い合わせは「KAZUMI DANCE STUDIO」(073・478・3360)へ。



宝塚歌劇団時代の森央かずみさん＝森央さん提供



1歳の長男拓海ちゃんをあやすながら意気込みを語る森央かずみさん＝和歌山市黒岩